

⑤ 野鳥の観察

1 子どもたちに伝えたいこと

- ・野鳥の観察を通して、自分たちの周りにおける自然環境を考えてみる。
- ・日野には野鳥の餌となる、木の実・小魚・昆虫などが豊富にあることを伝える。

2 実施時期：春～冬

3 実施場所：野外

4 対象学年：中学年～高学年

5 関連教科：総合、理科

6 時数：2時限～3時限

7 事前準備

- (1) 学校：野鳥について事前学習
- (2) どんぐりクラブ：野鳥の資料の作成、観察場所の下見、(必要に応じて講師を依頼)

8 当日

(1) 準備する材料や道具

学校：筆記用具、図鑑、双眼鏡 (あれば)

どんぐりクラブ：双眼鏡など、資料、羽根のサンプル、ボランティア袋 (ゴミ拾い用)

(2) 授業の流れ

- ① あいさつ・資料の配布
- ② 鳥に関する話
- ③ 双眼鏡の使い方
- ④ 野鳥観察のこつ
- ⑤ 観察をする
- ⑥ まとめ

観察で学んだこと、気づいたことなどを発表する。

- ⑦ 終わりのあいさつ

9 備考

- ・6～8月は野鳥の繁殖期でもあり、この間の活動はなるべく避けたい。一方、木の葉の落ちる冬場は観察に適している。
- ・時間や人数の関係で観察は屋内・屋外のチームに分け、時間の余裕があれば、両方観察させたい。
- ・公園や雑木林、河原に行くとより多くの野鳥が観察できるが、学校から遠い場合には移動に時間をとられるため、より多くの時限数が必要である。



<カワセミ>



<羽根のサンプル>



<フィールドスコープによる観察風景>